

第35期 決算説明資料

I. 会社概要及び事業内容	1
II. 第35期 決算概要	8
III. 今後の推進事業	11
IV. 今後の新たな成長戦略	17
参考資料	23



I. 会社概要及び事業内容



会社概要

株式会社土木管理総合試験所

商号	株式会社土木管理総合試験所 C.E.Management Integrated Laboratory Co.Ltd
市場・証券コード	東京証券取引 第1部 ・ 証券コード6171
本社	【長野本社】長野県千曲市雨宮2347－3 【東京本社】東京都台東区上野5-15-14-5F
事業所	2本社、17支店、1出張所、4試験センター
資本金	11億8,126万1,000円
従業員数	412人(2019年12月31日現在)
設立	昭和60年10月
事業内容	試験総合サービス事業:土質・地質調査試験、非破壊調査試験、 環境調査試験 地盤補強サービス事業:地盤補強工事 その他事業:試験機器販売等



試験総合サービス事業 売上比率88%

土質・地質調査試験



土の繰返し非排水三軸試験

試験総合サービス事業 売上比率88%

非破壊調査試験



試験総合サービス事業 売上比率88%

環境調査試験





地盤補強サービス事業 売上比率 10%

一般住宅及び中・大型物件



必要に応じて

地盤改良・補強工事の実施



建築技術性能証明

環境ハイル工法

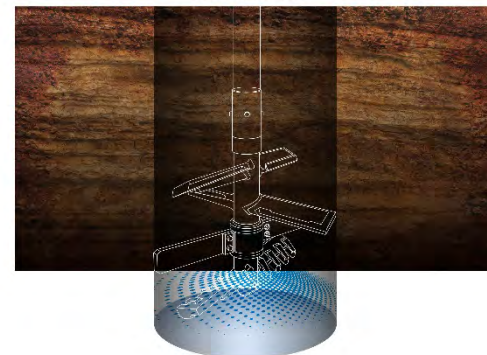


建築技術性能証明 GBR性能証明 第12-25号

深層混合処理工法

FINE PILE eco

ファインパイル工法 0003



Ecology & Economical Design
ALKTOP
アルクトップ



国土交通大臣認定工法
建築技術性能証明工法

建築技術性能証明工法

その他事業 売上比率 2% 試験機器・ソフトウェア販売



当社 製造販売試験機器



子会社(株)ISP ソフトウェア販売

※NETIS【KT-100031-A】登録（国交省 新技術情報提供システム）

※特許取得 第5420936号



Ⅱ．第35期 決算概要



2019年 35期 決算概要

(百万円)

	2018年12期	2019年12月期	前期比(%)
売上高	5,663	6,066	107.1
営業利益	493	487	98.8
経常利益	495	525	105.9
当期純利益	326	305	93.7
一株当たり四半期純利益(円)	23.2	21.1	90.9



セグメント別内訳

髙土木管理総合試験所

試験総合サービス事業

(百万円)

	2018年12月期	2019年12月期	前期比(%)
売上高	4,984	5,292	106.2
セグメント利益	992	1,050	105.8

地盤補強サービス事業

	2018年12月期	2019年12月期	前期比(%)
売上高	506	647	127.9
セグメント利益	42	60	142.9

試験総合サービス事業

地質・土質試験調査

災害復興関連事業や品質管理業務、受注案件の大型化。地質調査案件は増加

非破壊調査試験

インフラストックの維持管理メンテナンス業務、橋梁・水道施設・トンネル・高速道路等の劣化調査が好調

環境調査試験

前年比で土壌浄化工事の大型案件が減少
アスベスト調査・塗膜調査が増加
10月の台風19号の影響で利益率が低下

地盤補強サービス事業

工事案件の全国対応で業績が進捗
消費税増税前の駆け込み需要あり



Ⅲ. 今後の推進事業

平成26年の法改正により、2m以上の橋梁及びトンネルは、5年に1回の定期点検が義務化

● 社会問題となっているインフラの老朽化



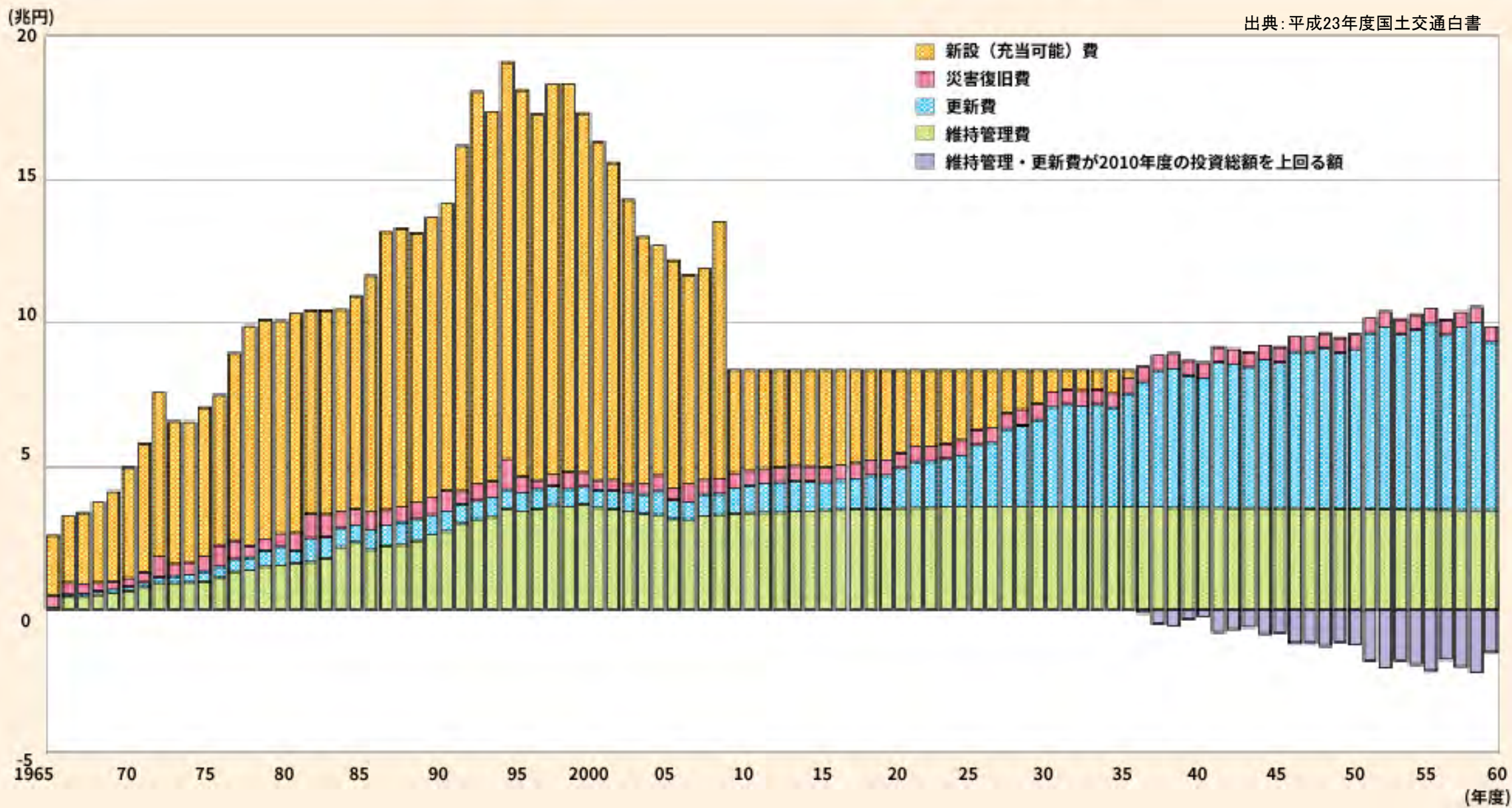
- ・点検が必要な橋梁は約70万橋、トンネルは約1万本
- ・道路の調査距離は膨大！
高速道路総延長9,341km、
一般国道65,843kmに及ぶ！
- ・ブロック塀の倒壊や既存構造物の劣化も社会問題化



構造物の新設と維持管理の関係

国土管理総合試験所

出典: 平成23年度国土交通白書





ROAD-S(ロードス)の展開

国土管理総合試験所

ロードス技術の開発



戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

内閣府主催で科学技術イノベーションの実現が目的

数百の案件から最終的に8件のプロジェクトが実現

2016年から「インフラの点検効率化を助ける橋梁の高速・自動レーダー診断技術」の開発に参画



ROAD-S
ロードス

道路・軌道の異常度診断ビッグデータ共有システム



ロードスシステムを用いた受注実績

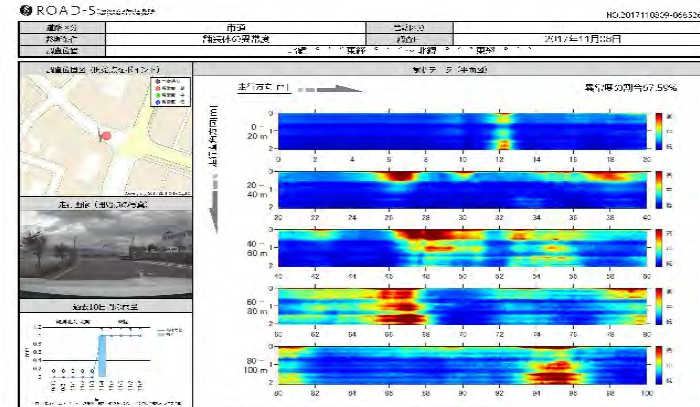
発注元	国交省、NEXCO、JR、建設コンサルタント
調査橋梁数	121橋 総延長延べ9,900m
請負金額合計	約3,400万円

路面下空洞調査の受注も進んでおり、ロードスの技術提案を行っております。

高速調査



高速解析





ラボラトリーの充実 自動化の推進

作業の効率化・省力化を目指し自動化を推進

環境分析センター(長野県長野市)



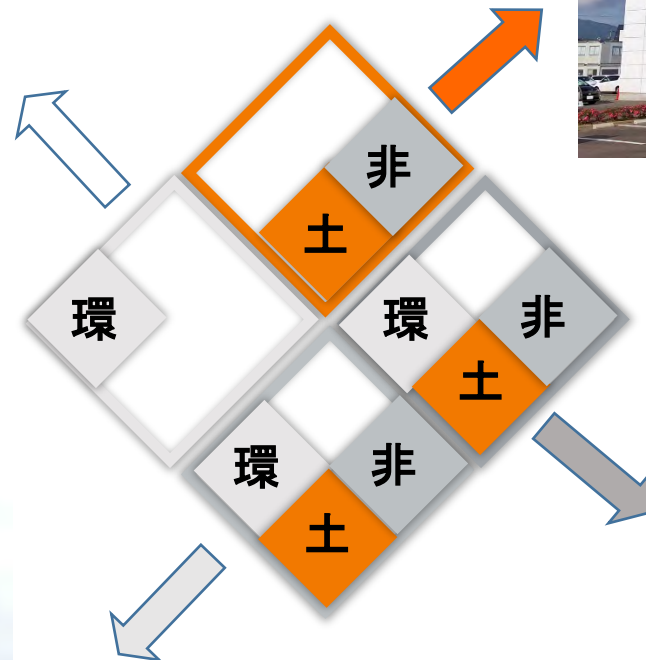
西日本試験センター(山口県山口市)



中央試験センター(長野県千曲市)



自動試料分取装置を開発・設置



東日本試験センター(宮城県仙台市)



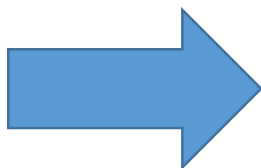
- 土 土質試験
- 非 非破壊試験
- 環 環境分析

IV. 今後の新たな成長戦略



+ FC 店

全国47都道府県に拠点展開



地方でもDKの最新技術を提供

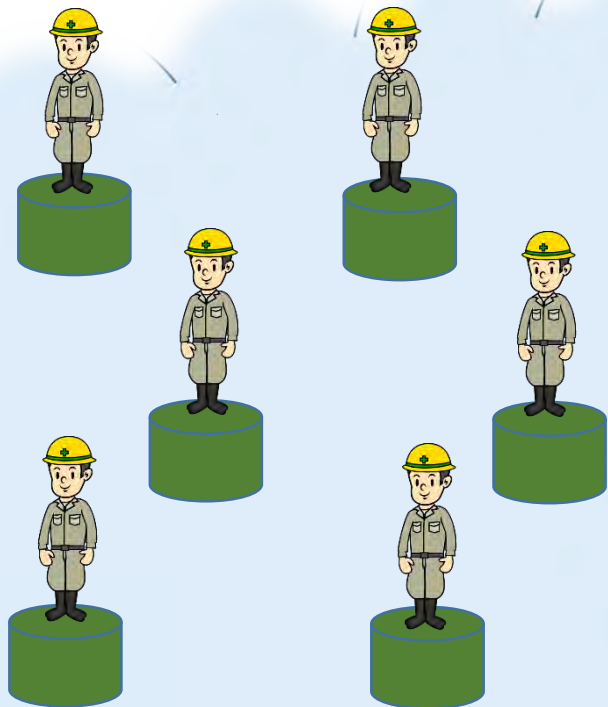
全国の案件データをビッグデータ化

人材不足・雇用難の中で地方で雇用を創出

2019年 FC北海道店、FC熊本店を開設
2020年 新たに4つのFC店を新規開設予定



全国 F C 店



データ収集

最新技術の提供

日本全国各地の案件に対応

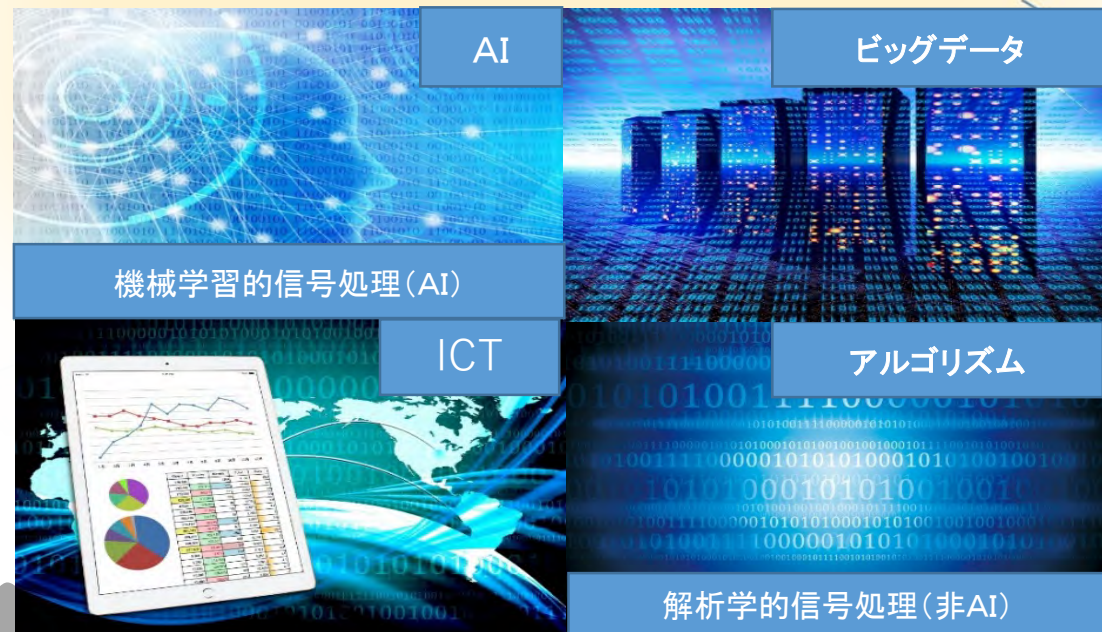
土木管理総合試験所

中央拠点に社員を集約



高度コンサルティング業務

- ・最新の技術開発
- ・大型案件の対応
- ・アカウントマネジメント



海外展開

経済発展が目覚ましいベトナム共和国に進出



- ・初の海外拠点として駐在所をベトナム・ハノイに開設



2020年6月には現地法人化
本格的に事業をスタート
海外にも安心・安全を届ける！



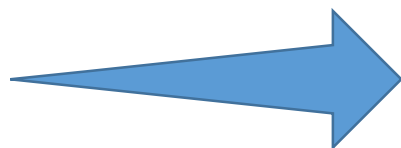
ベトナムでも採用活動を強化

M&A事業の推進



M&Aの推進

飛躍的な進化・成長

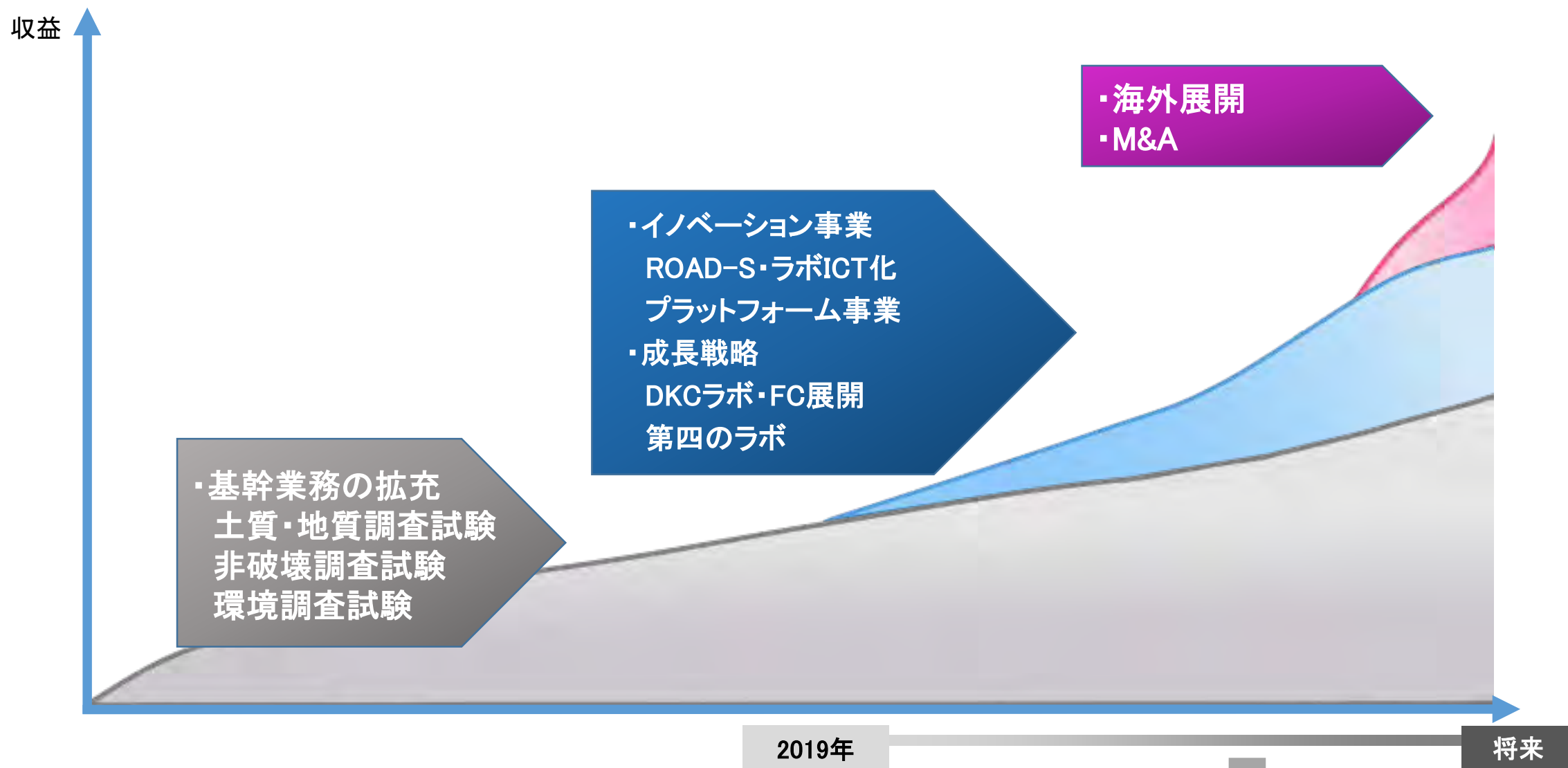


新規事業を取り入れて飛躍的に成長

- ・新規事業の獲得、営業範囲の拡充
- ・既存の業務を強化して他社との差別化を図り、収益性を向上させる
- ・経営資源の獲得
(人材・技術・ノウハウ・ブランド)



将来の成長イメージ



参考資料



株 主 還 元

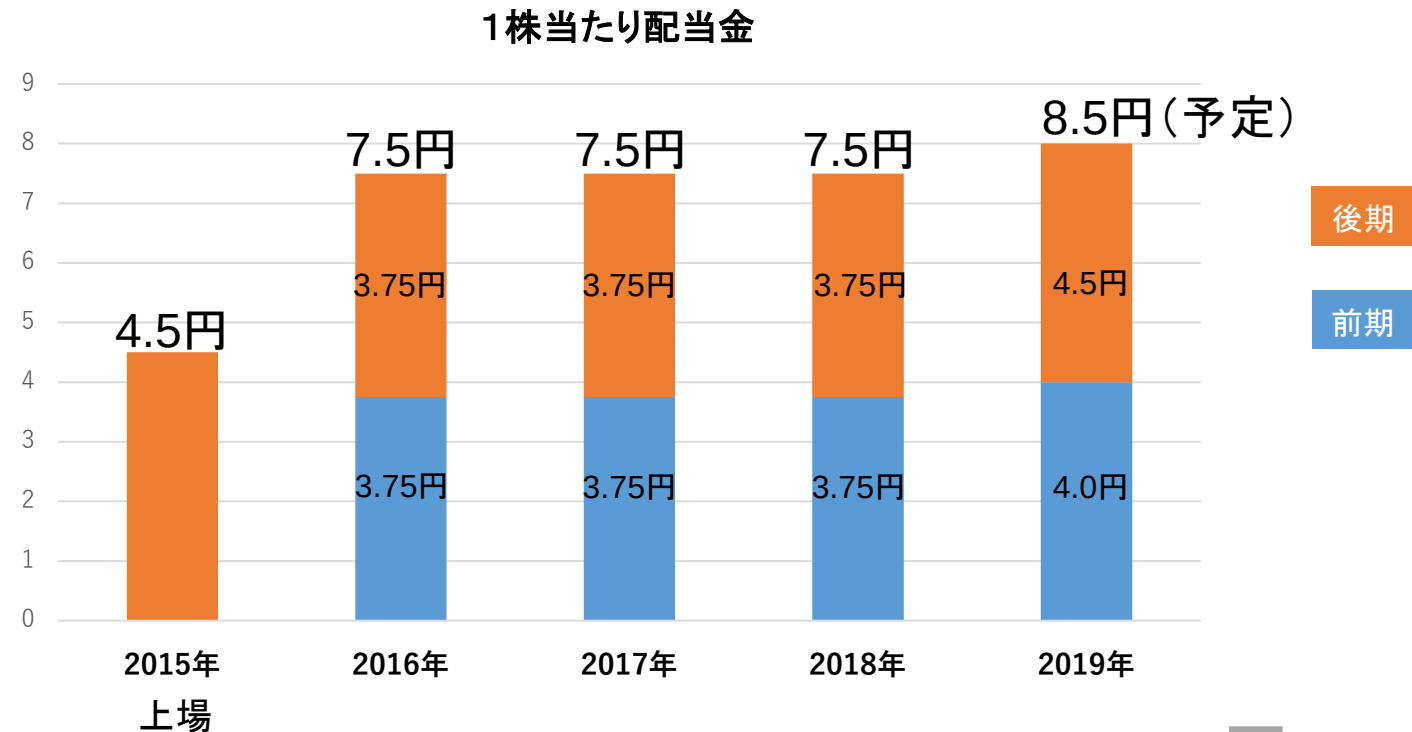
髙土木管理総合試験所

基本方針 ▶ ①安定的かつ継続的な配当 ②配当性向30%以上を継続

配当金 2019年(予定) 8.5円／株

配当性向 40.2%

還元率1.8%(株価450円)



※配当額は分割を加味した金額となっております。

土砂災害・豪雨災害への対応

洪水や土砂災害、内水、高潮等が複合的に発生する災害や現行施設の能力を上回る事象への対策を強化する。

堤防の決壊を未然に防ぐため土質を調べて対策をします。

土砂・洪水氾濫対策のための砂防堰堤の強度調査や地盤調査を行い必要な対策を検討します。

土の密度・吸水率試験



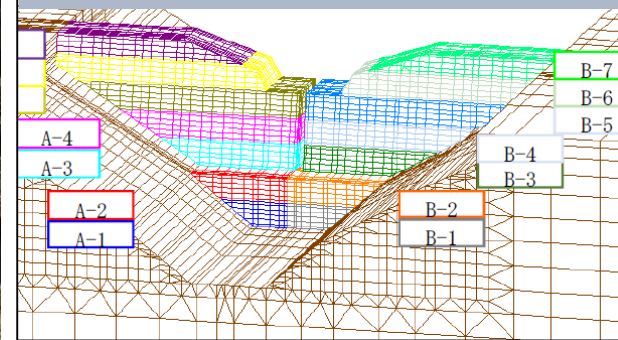
土の締固め管理



ボーリング調査



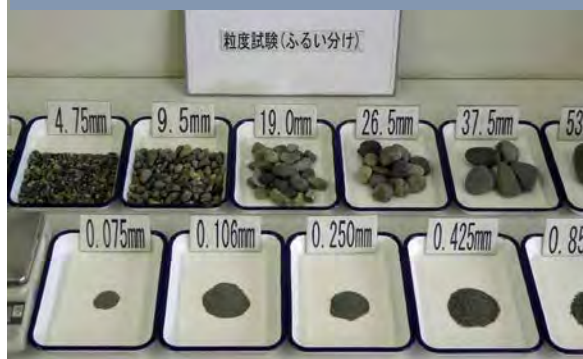
ひび割れ予測解析



土質試料採取



ふるい分け試験



ソイルセメント配合試験



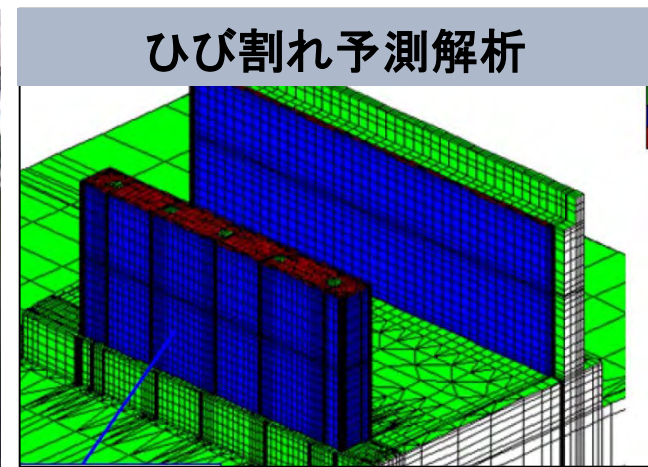
ひび割れ調査・補修



震災でも橋梁が倒壊しないように補強工事が進んでいます。



試験・調査で橋梁の倒壊を未然に防ぎます



ブロック塀の倒壊を未然に防ぐため、様々な試験を実施しています。

傾斜量の測定



鉄筋探査



基礎形状の掘削調査



鉄筋の接合状況調査



土木管理総合試験所では次世代の育成、地域の安全・安心に焦点を当てたCSR活動に取り組んでいます



【ご注意事項】

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の国内及び海外の経済情勢、内外の状況変化や様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

【お問合せ先】

株式会社土木管理総合試験所 管理部企画課

TEL: 03-5846-8385 / FAX: 03-5846-8386

E-mail : sikenjyo@dksiken.co.jp

〒110-0005

東京都台東区上野5-15-14-5F